

# 天草第一病院が担う 役割について

令和5年11月 医療法人社団 永寿会  
天草第一病院  
院長 永野 博人

# 1 現状と課題

## 【社会的使命】

安心して暮らせる健康長寿日本一の街づくりに貢献します。

## 【理 念】

人間の尊厳と生命力の偉大さを自覚し、愛と誠と感謝の心で地域の保健・医療・福祉の向上に貢献します。

# 1 現状と課題

## 【基本方針】

1. 急性期病院として常に良質で安全、安心、信頼される医療サービスを提供します。
2. 透析治療の先駆的病院として、地域のリーダーシップを発揮し、豊かな透析人生を支援します。
3. 在宅医療・介護を推進し、安心できる在宅生活を支援します。
4. 健康長寿日本一の天草を目指し、生活習慣病の予防と治療に取り組みます。
5. 地域社会の快適環境の保全に努めます。

# 1 現状と課題

## 【基本情報】

### ○病床数 128床

内訳	急性期一般入院基本料5	32床
	地域包括ケア病棟入院基本料1	36床
	医療型療養病床	60床

透析診療 同時130床

### ○標榜診療科 全18診療科

内科・循環器内科・胃腸内科・消化器内科・呼吸器内科・腎臓内科・人工透析内科・脳神経内科・外科・脳神経外科・呼吸器外科・消化器外科・心臓血管外科・大腸、肛門外科・整形外科・泌尿器科・人工透析血管外科・リハビリテーション科

### ○指定・認定

- ・ 救急告示病院・病院群輪番制病院救急病院認定・脳卒中回復期医療機関
- ・ 日本医療機能評価機構認定病院・ISO 9001認証取得(透析センター)
- ・ 天草市施設健診指定・協会けんぽ生活習慣病予防健診指定機関
- ・ 日本透析医学会専門医制度教育関連施設

# 1 現状と課題

## 【診療実績】 令和4年度

- ・ 年間延べ入院患者数 32,684人 (1日平均 89.5人)
- ・ 年間延べ外来患者数 78,336人 (1日平均 249.5人)  
(うち 透析患者数 33,409人 (1日平均 106.4人))
- ・ 平均在院日数 15.1日
- ・ 病床稼働率 70% (コロナ病棟除く 85.6%)  
※R5.8よりコロナ感染症重点医療機関として1病棟専用運用
- ・ 救急患者数 3,332人(うち救急搬送受入 370人)

# 1 現状と課題

## 【職員数】

職種		常勤	非常勤	計	職種		常勤	非常勤	計
医師		16	12	28	看護部	看護師	62	17	79
薬剤師		2		2		准看護師	5	5	10
臨床検査技師		3		3		看護補助者	14	7	21
診療技術部	診療放射線技師	4		4	事務部	社会福祉士	1	1	2
	理学/作業療法士	8		8		診療情報管理士	1		1
	言語聴覚士		1	1		事務	24	5	29
	管理栄養士	1		1		その他	1	6	7
	臨床工学技士	5		5					
						合計	147	54	201

# 1 現状と課題

## 【自施設の特徴および政策医療】

- ・ 救急告示病院として365日24時間対応をしています。救急車受入れを担いつつ、急性期、回復期、慢性期医療を切れ目なく提供しています。
- ・ 脳卒中では、常勤の脳神経外科1名体制にて回復期医療機関として対応しています。回復期からリハビリテーションを実施しています。また外科的手術などは天草地域医療センターへ依頼し、連携をとっています。
- ・ 新興感染症については、令和4年8月より重点医療機関として対応しています。一般および透析患者の外来・入院など対応をしています。
- ・ 在宅医療として、訪問診療を積極的に行っています。在宅での看取りなどにも地域の関係機関と連携し対応しています。在宅療養支援病院として病院全体でサポートできる体制を整備しています。
- ・ 透析部門は、130名の同時血液透析が可能な施設を整えています。様々な合併症に対応できる検査と入院設備を備え、シャントトラブルにも迅速に対応できる体制をとっています。また、夜間透析も月～土曜日で対応しています。

## 2 今後の方針

### 【地域において今後担うべき役割】

- 1 地域包括ケアシステムの一環として在宅へ向けてのフォローアップ  
急性期・回復期・慢性期機能の充実
- 2 診療科の充実  
地域に必要な医療を拡充  
産業医科大学整形外科との連携（手術支援等）
- 3 腎不全治療の充実  
腎臓病の早期発見と治療および慢性維持透析の充実  
常勤腎臓専門医による診療（熊本大学病院腎臓内科との連携強化）
- 4 在宅医療  
訪問診療、訪問リハビリ、通所リハビリ等の提供  
他の介護保険関連事業所・施設等との連携
- 5 新興感染症への対応（透析患者用に感染拡大期4床の即応病床確保）



### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

#### 【① 4 機能ごとの病床のあり方 その1】

単位：床

病床機能	2017年(平成29年)	2023年(平成35年)	2025年(平成37年)
高度急性期			
急性期	32	32	32
回復期	36	36	36
慢性期	60	60	60
その他			
合計	128	128	128

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

##### 【 ① 4 機能ごとの病床のあり方 その2 】

地域に密着した病院を目指し、急性期、回復期、慢性期、在宅医療を提供するため、現状の病床を維持します。

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

##### 【②診療科の見直し】

	現時点 ( R5年 4月時点)	2025年	理由・方策
維持	内科・循環器内科・胃腸内科・消化器内科・呼吸器内科・腎臓内科・人工透析内科・脳神経内科・外科・脳神経外科・呼吸器外科・消化器外科・心臓血管外科・大腸、肛門外科・整形外科・泌尿器科・人工透析血管外科・リハビリテーション科 全18診療科	現状維持	地域に密着した病院としての役割を果たすため
新設	—	—	—
廃止	—	—	—
変更・統合	—	—	—

### 3 具体的な計画 (2) 数値目標

	現時点( R5年 4月時点)	2025年
①病床稼働率	70%	80%以上
②紹介率	21.4%	30%以上
③逆紹介率	28.9%	30%以上

## 3 具体的な計画

### (3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

#### 【取組みと課題】

- 1 医療連携を推進
  - \* 地域医療連携室の機能拡充とそれに伴う人員の確保  
(令和6年4月 1名採用予定)
  - \* 各医療機関等との顔の見える関係の構築
  - \* くまもとメディカルネットワークの活用
- 2 看護師、看護補助者の慢性的な不足
- 3 医師の確保（宿直可能な医師）
  - \* 熊本大学病院および外部医師からの協力体制の継続
- 4 教育研修
  - \* 認定看護師の取得支援（感染、認知症、心不全、皮膚・排泄）

## 4 その他特記事項

### 【特記】

- 1 体外衝撃波結石破砕装置(ESWL)による治療
- 2 がん温熱免疫療法(ハイパーサーミア)